

株式会社 三商  
クールインキュベーター  
型式 SIC-10

取扱説明書

第3版

	ページ
安全上のご注意	1-2
ご使用前に	3-5
各部の名称	6
ご使用方法	7-12
収納物について	13
お手入れ	14
移設・廃棄・譲渡・長時間使用しないときは	15
困ったときには	16-17
仕様	18
保障とアフターサービス	19

- ・ ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・ 保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入を確かめて販売店からお受け取りください。
- ・ 取扱説明書と保証書は大切に保管してください。

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに表示した注意事項は使用者の安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

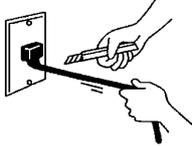
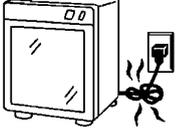
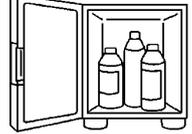
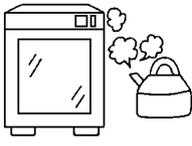
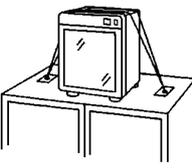
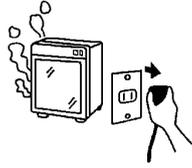
	<b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

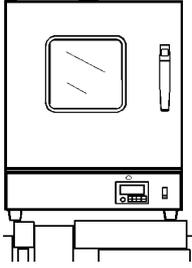
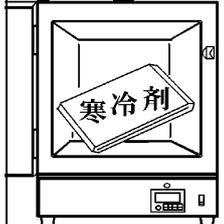
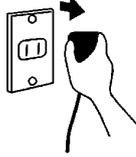
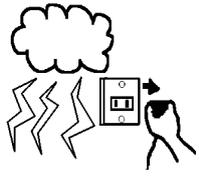
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の意味は、次のとおりです。

	絶対に行わないでください。		絶対に分解・修理・改造はしないでください。
	絶対に触れないでください。		必ず指示に従い、行ってください。
	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。		絶対に濡れた手で触れないでください。
	火災や爆発につながります。 十分注意してください。		

# 安全上のご注意

 <b>警告</b>			
<p>電源コードを引っ張らない、傷つけない、加工しない、物を載せない、高温部に近づけない。</p>   <p>禁止</p> <p>発火・感電の原因</p>	<p>電源コードを束ねたまま使用しない、タコ足配線をしなない、アジャスターで踏まない。</p>   <p>禁止</p> <p>火災・発熱の原因</p>	<p>爆発性、可燃性物質は入れない。</p>   <p>禁止</p> <p>揮発性の引火しやすいものを入れると、爆発・火災・発火の原因</p>	<p>上に乗らない、重いものを載せない。</p>   <p>禁止</p> <p>ケガの原因</p>
<p>水のかかることや湿度の多い場所に置かない。</p>   <p>禁止</p> <p>絶縁不良により、火災・感電の原因</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。</p>   <p>濡れ手禁止</p> <p>感電の原因</p>	<p>修理や分解・改造をしない。</p>   <p>分解禁止</p> <p>火災・感電・ケガの原因</p>	<p>水の入った容器を置かない。</p>   <p>禁止</p> <p>水がこぼれると、火災・感電の原因</p>
<p>高所に置くときは壁や柱・床などに固定する。</p>   <p>固定する</p> <p>ケガの原因（市販の固定具を利用してください。）</p>	<p>交流100Vで15A以上のコンセントを単独で使用する。</p>   <p>100V15A以上</p> <p>火災・発熱の原因</p>	<p>異常時(こげ臭いなど)は電源プラグを抜く。</p>   <p>プラグを抜く</p> <p>火災・感電の原因</p>	

 <b>注意</b>			
<p>不安定な場所に置かない。</p>   <p>禁止</p> <p>ケガの原因（ガタつく時は脚下にボール紙等入れて調節してください）</p>	<p>市販の寒冷剤(硝安・尿素を含む)を入れない。</p>   <p>禁止</p> <p>故障・サビの原因</p>	<p>長期間使用しないときは電源プラグを抜く。</p>   <p>プラグを抜く</p> <p>火災・発火の原因</p>	<p>雷が鳴りはじめたらすぐに電源を切る。</p>   <p>電源を切る</p> <p>故障・火災・感電の原因</p>

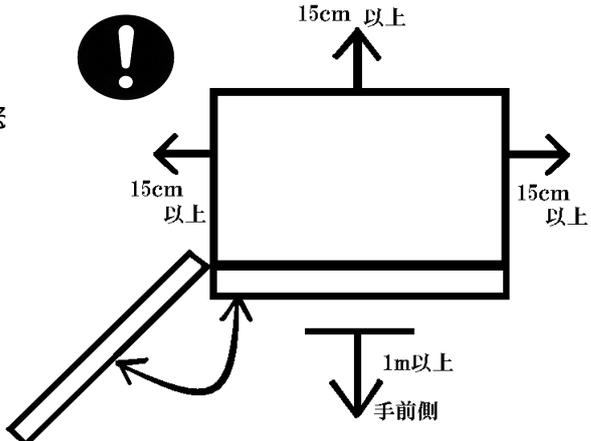
# ご使用前に

## 1. 設置場所にご注意ください。

 特に次のような場所への設置は、しないでください。

- ・ 凹凸した面、汚れた面
- ・ 可燃性ガス、腐食危険性ガスの発生している
- ・ 周囲温度が 35℃以上になるところ
- ・ 温度差の激しいところ
- ・ ほこりや湿気の多いところ
- ・ 直射日光の当たるところ
- ・ 振動の多いところ

製品の周囲は右図表示数値以上でスペースを空けてください。



15cm 以上

15cm 以上

15cm 以上

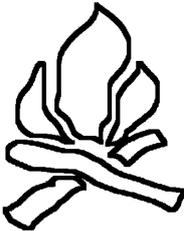
1m以上  
手前側

## 2. 引火性、爆発性のあるガス雰囲気中での使用はしないでください。

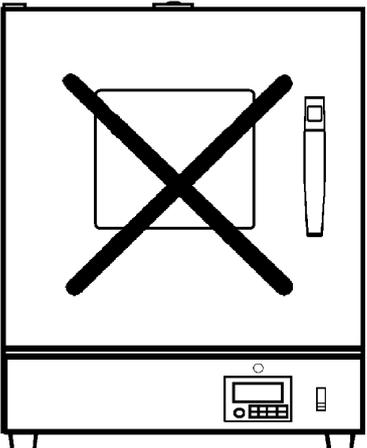
 引火性、爆発性のあるガスの雰囲気中では、絶対に使用しないでください。  
本器は防爆構造ではありませんので、漏電プレーカーの「入」、「切」の時  
および動作中にアークの発生を伴い、火災・爆発の原因となります。



**爆発性ガス**



可燃性ガス

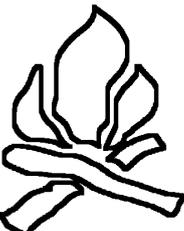


## 3. 爆発性、可燃性物質およびそれらを含んだ物質の使用はしないでください。

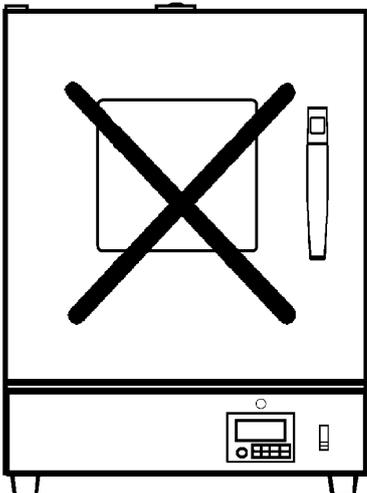
 爆発性、可燃性物質およびそれらを含んだ物質を入れて使用しないでください。  
爆発・火災の危険があります。爆発性、可燃性のある物質については  
P. 13「収納物について」を参照してください。



**爆発性物質**



可燃性物質

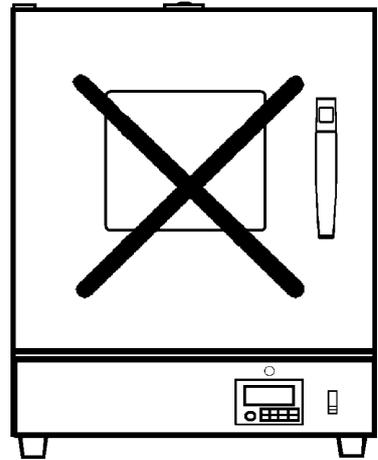


# ご使用前に

## 4. 改造はしないでください。



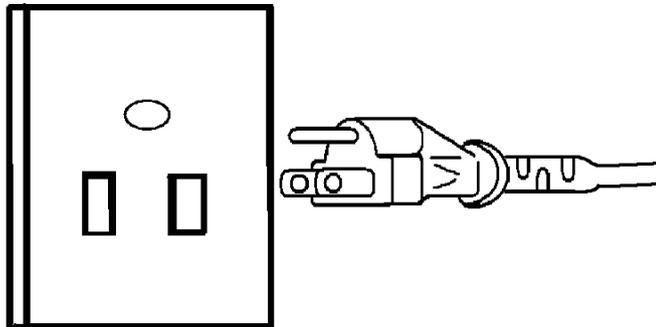
故障の原因となりますのでお客様による改造は絶対にしないでください。



## 5. アース線を必ず接続してください。



アースが不完全な場合は、感電の原因になります。コンセントに確実に接続してください。  
アース端子がない場合は工事が必要となりますので販売店にご相談ください。  
(電気工事業者による第3種設置工事が必要です。)



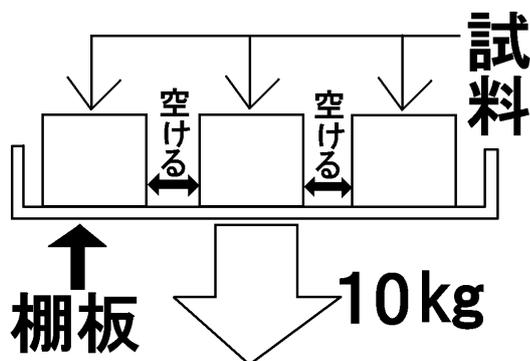
アース線は、水道管やガス管、避雷針、電話線のアースに接続しないでください。  
事故・故障の原因となります。

## ご使用前に

### 6. 載せすぎ、入れすぎに注意してください。



棚板の耐荷重は等分荷重で10kgです。試料は分散させて設置してください。  
また、試料を入れすぎますと、正常な温度制御ができなくなります。温度精度を確保するため必ず棚板を使用し、且つできるだけ試料間に空間を設け、棚板に空きスペースを確保してください。



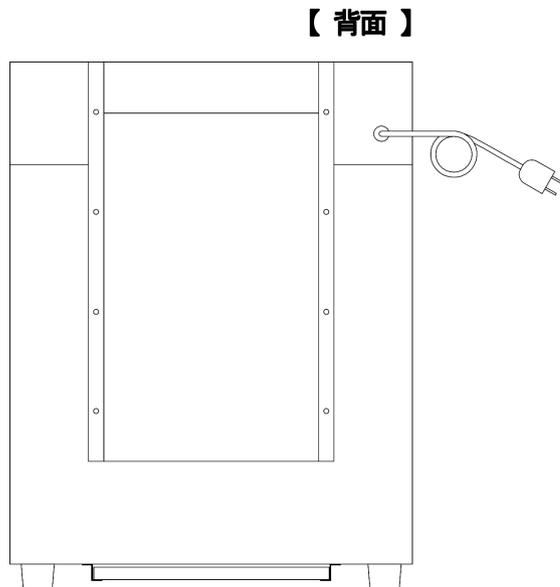
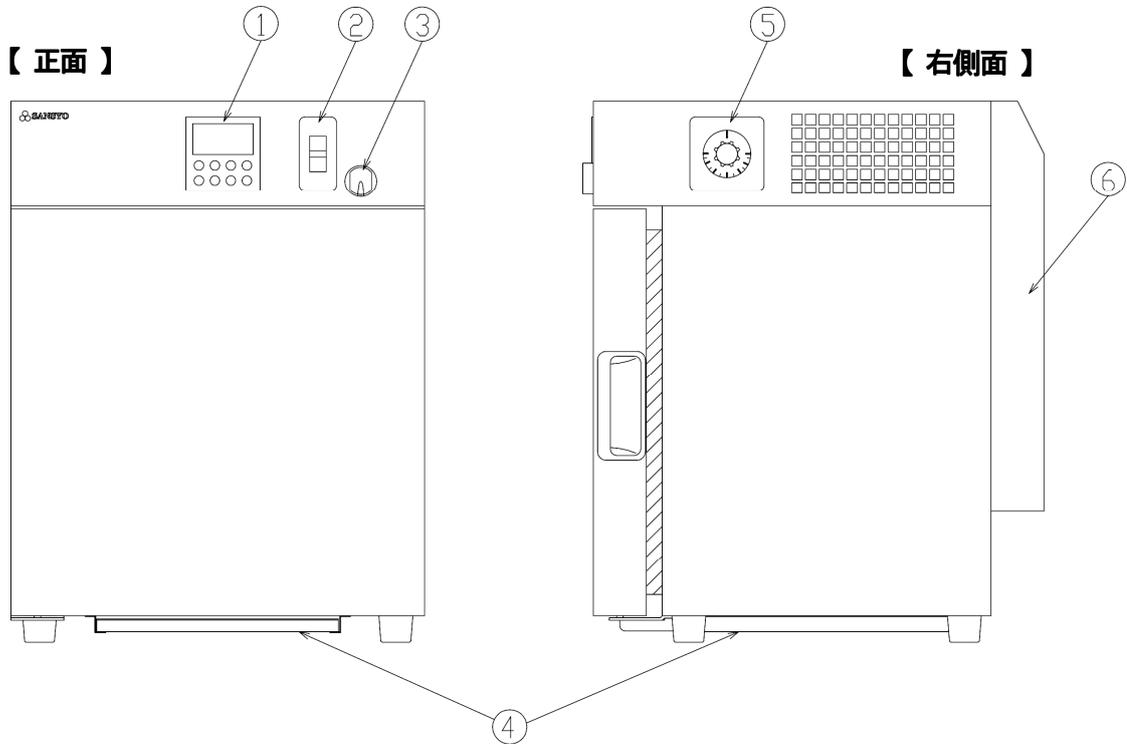
### 7. 冷却能力について

本器の最低温度到達能力は〔周囲温度-23℃〕となっています。  
周囲温度が23℃を超えると0℃に達しない恐れがありますのでご注意ください。  
外気温によっても異なりますが、庫内温度20℃を0℃にするための所要時間は約120分です。

### 8. 冷却器と温度調節動作について

本器は冷却器にペルチェ素子を使用しています。  
冷却器は温調器表示温度が40℃以下でON、41℃を超えると自動的にOFFとなります。  
40℃まではヒーターと冷却器での温度調節、41℃以上ではヒーターのみの温度調節となります。  
冷却器がONの間は、OUT3ランプが点灯します。

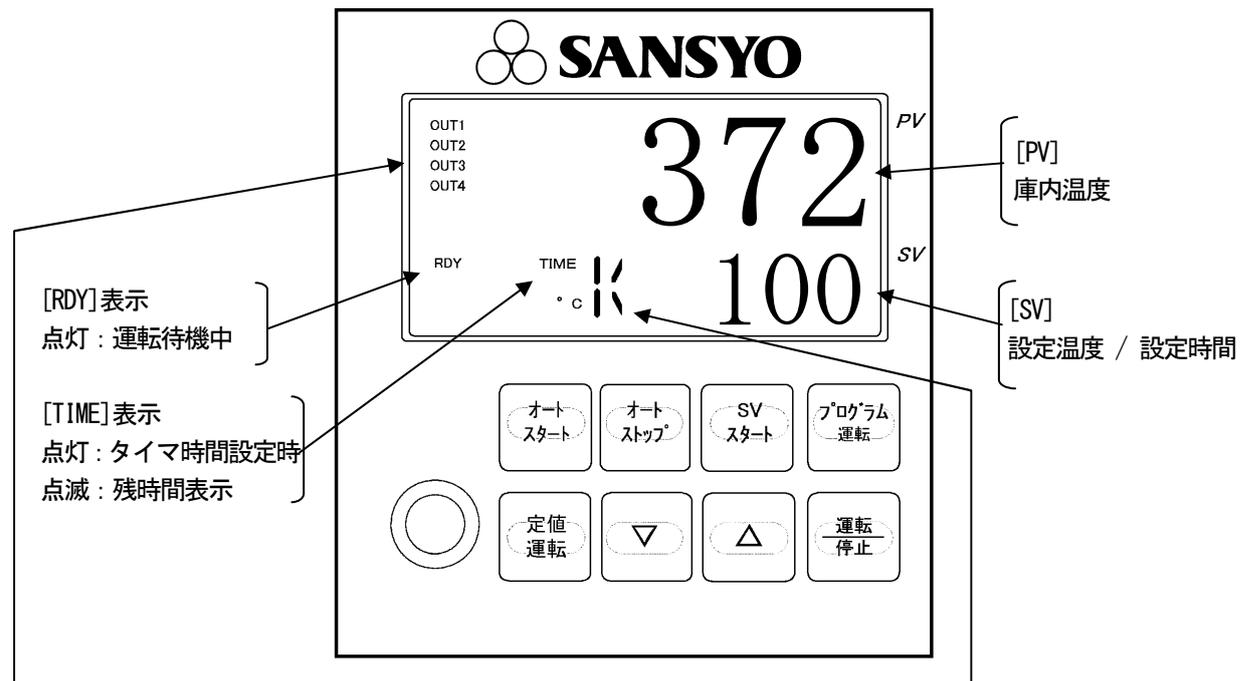
# 各部の名称



No.	名称
1	温度調節器
2	電源スイッチ
3	シリンダー錠
4	水受けトレイ
5	独立過昇防止器
6	冷却器ダクト

# ご使用方法

【 温度調節器 操作パネル 】



ランプ	動作	点灯	消灯
OUT1	ヒータ ON	○	-
OUT2	ヒータ OFF	○	-
OUT3	冷却器 ON	○	-
	冷却器 OFF	-	○
OUT4	未使用	-	-

表示	運転モード
表示なし	定値運転
K	オートスタート運転
T	オートストップ運転
V	SV スタート運転
I	プログラム運転 (ステップ数)

※ステップ数 1~9 は「1~9」  
10~16 は「A~G」を表示します

## ■はじめに

電源プラグを AC100V、12A 以上のコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にしてください。  
冷却用、庫内循環用ファンが回ります。起動表示(約 5 秒間)の後、庫内温度と設定温度を表示、「RDY」が点灯して運転待機中となります。

- ※運転終了後は、必ず電源スイッチ(漏電ブレーカー)を「切」にしてください。
- また、長時間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

## ■運転モードについて

本器は以下の 5 つの運転モードが選択できます。

- ・ 定値運転 : 設定温度で運転する
- ・ オートスタート運転 : 設定時間後に運転をスタートする
- ・ オートストップ運転 : 設定時間後に運転をストップする
- ・ SV スタート運転 : 設定温度に達するとタイマーが作動し、設定時間後に運転をストップする
- ・ プログラムの運転 : 設定したプログラムに合わせ定値運転を繰り返し、運転する

※ 前回使用した運転モードは記憶されていますので、再運転時には希望する運転モードか確認をしてください。  
再び同じモードでの運転を行う場合は、各運転説明 1. の運転モードボタンを押す必要はありません。

※ 各モードでの設定温度・設定時間は、前回運転時の設定を記憶しています。

**注意** : 運転中のモード変更は出来ませんので必ず、停止中 (RDY ランプ点灯時) に行なってください。

# ご使用方法

各設定地項目の初期値等は以下の通りです。

- ・初期設定温度はすべて 0°C
- ・初期設定時間はプログラム運転は 0:00(時:分)  
オートスタート運転、オートストップ運転、SV スタート運転は 0:01(時:分)
- ・タイマー最大は 99:59(時間:分)
- ・プログラム運転のステップ数の初期値は 8 ステップ

## ■定値運転

### 【設定】

1. 「定値運転」ボタンを押してください。
2. PVに庫内温度、SVに設定温度が表示され、RDY が点灯します。
3. ▼▲ボタンを押して設定温度 (SV) を変更してください。0.1°C単位で変更できます。

### 【運転・停止】

1. 「運転/停止」ボタンを押すと RDY ランプが消え、設定温度よりも庫内温度が高い時は OUT2、低い時は OUT1 が点灯し運転がスタートします。
  2. 一時停止する場合は、「運転/停止」ボタンを押すと RDY ランプが点灯、OUT1 ランプが消え、運転が停止します。
- ※ 運転中に設定温度を変更する場合は、▼▲ボタンを押して設定温度 (SV) を変更してください。

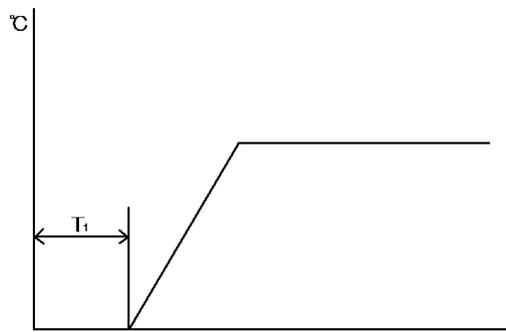
## ■オートスタート運転

### 【設定】

1. 「オートスタート」ボタンを押してください。PVに庫内温度、SVに設定温度、°Cの横にKが表示され、RDY が点灯します。
2. 再度、「オートスタート」ボタンを押すと PVにKTM、SVに設定時間 (時:分) が表示されます。
3. ▼▲ボタンを押して設定時間 (SV) を 1 分単位で変更してください。
4. 「オートスタート」ボタンを押すと PVに庫内温度、SVに設定温度が表示されます。▼▲ボタンを押して設定温度 (SV) を 0.1°C単位で変更してください。

### 【運転・停止】

1. 「運転/停止」ボタンを押すと RDY ランプが消え、タイマーがスタートします。設定したスタート時間 (T<sub>i</sub>) になると OUT または OUT2 ランプが点灯し、運転がスタートします。
  2. タイマー時間終了後又は途中で運転を停止させたい場合は「運転/停止」ボタンを押してください。RDY ランプが点灯します。
- ※ 運転中に残時間を確認したい場合は、「オートスタート」ボタンを押すと TIME が点滅し、残時間を表示します。再度「オートスタート」ボタンを押すと元の表示に戻ります。



# ご使用方法

## ■オートストップ運転

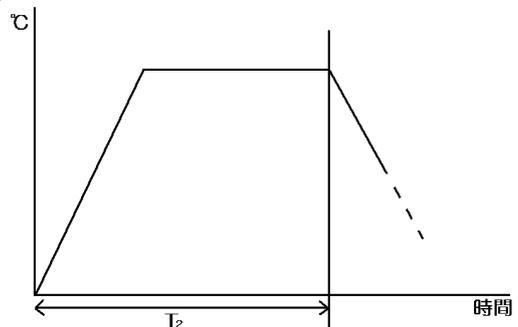
### 【設定】

1. 「オートストップ」ボタンを押してください。PVに庫内温度、SVに設定温度、「°C」の横に  $t$  が表示され、RDYが点灯します。
2. 再度、「オートストップ」ボタンを押すとPVにTTM、SVに設定温度（時：分）が表示されます。
3. ▼▲ボタンを押して設定時間（SV）を1分単位で変更してください。
4. 「オートストップ」ボタンを押すとPVに庫内温度、SVに設定温度が表示されます、▼▲ボタンを押して設定温度（SV）を0.1°C単位で変更してください。

### 【運転・停止】

1. 「運転/停止」ボタンを押すとRDYランプが消え、OUT1、もしくはOUT2ランプが点灯し、タイマーがスタートします。設定した時間になるとOUT1、もしくはOUT2ランプが消え運転が停止します。
2. タイマー時間終了後又は途中で運転を停止させたい場合は「運転/停止」ボタンを押してください。RDYランプが点灯します。

※ 運転中に残時間を確認したい場合は、「オートストップ」ボタンを押すとTIMEが点滅し、残時間を表示します。再度「オートストップ」ボタンを押すと元の常時に戻ります。



## ■SVスタート運転

### 【設定】

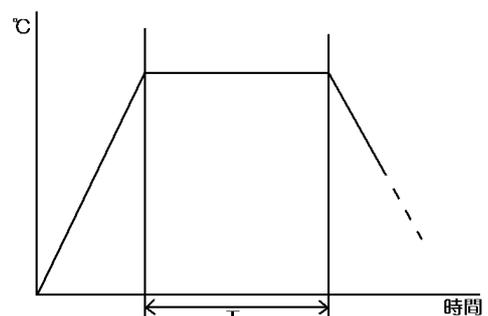
1. 「SVスタート」ボタンを押してください。PVに庫内温度、SVに設定温度、「°C」の横にVが表示され、RDYが点灯します。
2. 再度、「SVスタート」ボタンを押すとPVにVTM、SVに設定時間（時：分）が表示されます。
3. ▼▲ボタンを押して設定時間（SV）を1分単位で変更してください。
4. 「SVスタート」ボタンを押すとPVに庫内温度、SVに設定温度が表示されます。▼▲ボタンを押して設定温度（SV）を0.1°C単位で変更してください。

### 【運転・停止】

1. 「運転/停止」ボタンを押すとRDYランプが消え、OUT1、またはOUT2ランプが点灯し、運転がスタートします。設定温度に到達後、設定した時間（T3）が経過するとOUT1ランプが消え、運転が停止します。
2. タイマー時間終了後又は途中で運転を停止させたい場合は「運転/停止」ボタンを押してください。RDYランプが点灯します。

※ 運転中に残時間を確認したい場合は、「SVスタート」ボタンを押すとTIMEが点滅し、残時間を表示します。再度、「SVスタート」ボタンを押すと元の表示に戻ります。

※ 運転中、設定温度到達前にはTIMEランプが点灯し、残時間は00：00と表示されています。設定温度到達にはTIMEランプが点滅して残事案を表示します。



# ご使用方法

## ■プログラム運転

### 【設定】

プログラム運転では、最大 16 ステップの設定をすることができます。

1. 「プログラム運転」ボタンを押しながら「運転/停止」ボタンを3秒以上長押ししてください。
2. PVにSTEPN、SVにステップ数が表示されます。▼▲ボタンを押してプログラムしたいステップ数を設定してください。
3. 「プログラム運転」ボタンを押すとPVにPSV1、SVに設定温度が表示されます。▼▲ボタンを押してステップ1の設定温度  $t_1$  を0.1°C単位で変更してください。
4. 「プログラム運転」ボタンを再度押すとPVにPTM1、SVに設定時間(時:分)が表示されます。▼▲ボタンを押して設定時間(SV)を1分単位で変更してください。
5. 以降設定したステップ数まで3. 4.と同様に繰り返し温度・時間を設定してください。
6. 「プログラム運転」ボタンを3秒以上長押しして、プログラム設定を終了します。
7. PVに庫内温度、SVに0が表示されます。

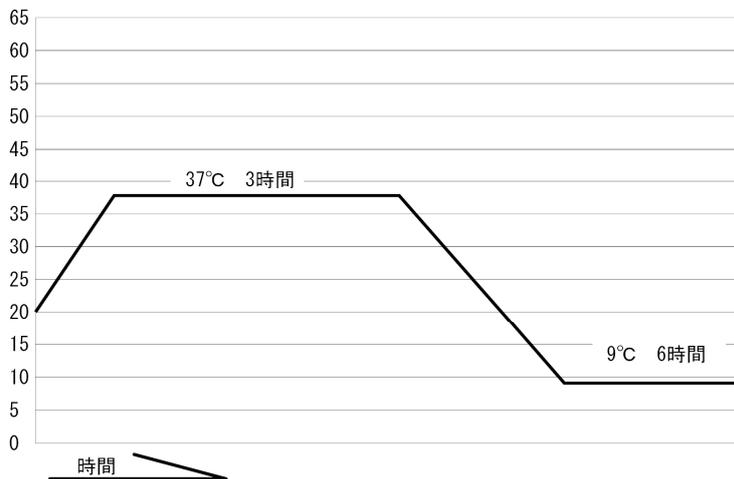
### 【運転・停止】

1. 「運転/停止」ボタンを押すとRDYランプが消え、OUT1、またはOUT2ランプが点灯し、プログラム運転がスタートします。
  2. プログラム運転中に「運転/停止」ボタンを押すと運転を停止します。
- ※ 運転中に残時間を確認したい場合は、「プログラム運転」ボタンを押すとTIMEが点滅し、残時間を表示します。  
この画面で「プログラム運転」ボタンを押すと実行回数の画面となります。  
再度、「プログラム運転」ボタンを押すと元の表示に戻ります。

**注意：ステップの設定時間が経過しても設定温度に到達していない場合は、次のステップに移行しません。設定温度が現在ステップの設定温度(±1°C)の範囲に入った時点で次のステップに以降します。**

### プログラム例

室温 23°C 庫内温度 23°Cより 37°Cで3時間、その後 9°Cで6時間運転する場合



ステップ数	設定温度 SV(°C)	設定時間 t(分)
ステップ1	37	20 (※)
ステップ2	37	180
ステップ3	9	90 (※)
ステップ4	9	360

※ 温度上昇と下降については「温度上昇と下降時間の参考データ」を参照して設定してください。

# ご使用方法

※コピーしてご使用ください

## プログラム作成用紙

試験の名称																
	作成年月日										作成者名					
60°C																
50°C																
40°C																
30°C																
20°C																
10°C																
0°C																
ステップ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16

## プログラム入力値

ステップ	設定温度 SV(°C)	設定時間 t(分)
ステップ 1		
ステップ 2		
ステップ 3		
ステップ 4		
ステップ 5		
ステップ 6		
ステップ 7		
ステップ 8		
ステップ 9		
ステップ 10		
ステップ 11		
ステップ 12		
ステップ 13		
ステップ 14		
ステップ 15		
ステップ 16		

# ご使用方法

## ■ご使用上の注意



### 警告

- 庫内底面には絶対に品物を置かない。→火災・発熱の原因。
- 運転中は庫内側面・底面が熱くなっております。触れないでください。

## 1. 庫内循環用送風ファンについて



試料の乾燥具合に注意してください。本器の槽内循環にはファンを使用しており、常に送風状態になっています。試料容器が開放状態の時などは乾燥する場合がありますのでご注意ください。

## 2. 結露水の排水



冷却器が作動していると冷却面が結露する場合があります。結露した水は本体下面のドレイン口から水受けトレイへ排水されます。水受けトレイは本体下部にあり、前面から引き出すことができます(6ページ参照)引き出す際には、本器の扉を開けた状態で作業してください。水受けトレイを引き出して溜まった排水を捨ててください。水量を適時確認してあふれないように注意してください。

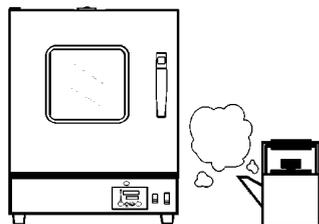
## 3. 鍵の使用について



本体正面上部右側に扉の開閉をロックする鍵を装備しています。スライド蓋を開け、鍵を差込んで施錠は右回しに90度、開錠は左回しに90度です。ロック金具が扉側に回転スライドして施錠する仕組みです。施錠開錠時以外は必ず鍵を抜いておいてください。鍵を差したままでご使用になると、意図せず施錠の状態になることがあります。扉が開いたまま施錠の状態となると扉破損の可能性があります。ご注意ください。

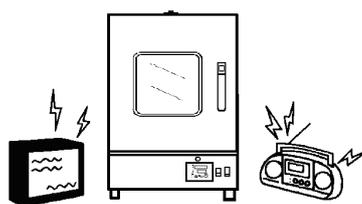
## 4. 製品の故障や損傷・劣化を防ぐために、次のことをご守りください。

熱気や湿気のあるところに置かない  
(直射日光の当たる場所や浴室の近くなどに置かない)



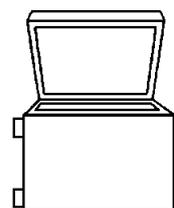
変色や故障の原因

テレビやラジオ・パソコンなどの近くに置かない



映像の乱れや雑音・誤動作等の障害の原因(障害の生じる距離は機器の電波の強さなどにより変わります。)

本体を倒して使わない



故障の原因

# 収納物について

## 爆発性物質

1. ニトログリコール、ニトログリセリン、ニトロセルロース、その他の爆発性の硝酸エステル類
2. トリニトロベンゼン、トリニトロトルエン、ピクリン酸、その他の爆発性のニトロ化合物
3. 過酢酸、メチルエチルケトン過酸化物、過酸化ベンゾイル、その他の有機酸化物

## 可燃性物質

### イ) 発火性のもの

金属「リチウム」、金属「カリウム」、金属「ナトリウム」、黄りん、硫化りん、赤りん、セルロイド類、炭化カルシウム（別名カーバイド）、りん化石灰、マグネシウム粉、アルミニウム粉、マグネシウム粉及びアルミニウム粉以外の金属粉、亜ニチオン酸ナトリウム（別名ヒドロサルファイド）

### ロ) 酸化性のもの

1. 塩素酸カリウム、塩素酸ナトリウム、塩素酸アンモニウム、その他の塩素酸塩類
2. 過塩素酸カリウム、過塩素酸ナトリウム、過塩素酸アンモニウム、その他の過塩素酸塩類
3. 過酸化カリウム、過酸化ナトリウム、過酸化バリウム、その他の無機過酸化物
4. 硝酸カリウム、硝酸ナトリウム、硝酸アンモニウム、その他の硝酸塩類
5. 亜塩素酸ナトリウム、その他の亜塩素酸塩類
6. 次亜塩素酸カルシウム、その他の次亜塩素酸塩類

### ハ) 引火性の物

1. エチルエーテル、ガソリン、アセトアルデヒド、酸化プロピレン、二硫化炭素、その他引火点が零下30度未満の物
2. ノルマルヘキサン、酸化エチレン、アセトン、ベンゼン、メチルエチルケトン、その他引火点が零下30度以上0度未満の物
3. メタノール、エタノール、キシレン、酢酸ペンチル（別名酢酸アミル）、その他引火点が0度以上30度未満の物
4. 灯油、軽油、テレピン油、イソペンチルアルコール（別名イソアミルアルコール）、酢酸、その他引火点が30度以上65度未満の物

### ニ) 可燃性のガス

水素、アセチレン、エチレン、メタン、プロパン、ブタン、その他温度15度、1気圧において気体である可燃性の物をいう。

(労働安全衛生法施行令別表第1より抜粋)

# お手入れ

製品を安定してご使用いただくため、日常の保守点検をお願いします。

## 警告

- 必要な時以外は必ず電源プラグを抜いてからお手入れする→感電・ケガの原因
- 傷んだ電源プラグやコード、差し込みのゆるいコンセントを使わない→発火・感電の原因
- 水洗いはしない→火災・感電の原因
- 機器が常温に戻ってからお手入れする→やけど、ケガの原因
- 機器は絶対に分解しない→故障・火災・感電・ケガの原因

## 注意

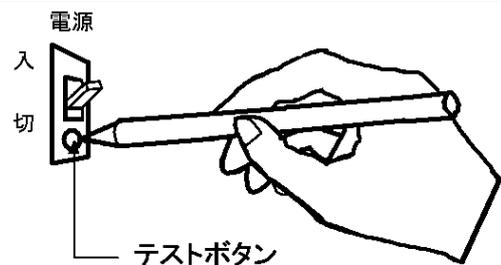
汚れはよく絞った柔らかい布でふきとってください。ベンジンやシンナー、クレンザーなどでふいたり、たわしでこすったりしないでください。変形・変質・変色などの原因になります。  
洗剤はよくふき取ってください。

## 1ヶ月ごとに

漏電ブレーカー機能を点検してください。

電源コードを接続し、通電された状態でテストします。

- ・ まず電源スイッチを「切」の状態にします。
- ・ 次に「入」の状態にしてから電源スイッチのテストボタンをボールペンなどの先で押して電源スイッチが切れれば正常です。



---

## 移設・廃棄・譲渡・長時間使用しないときは

---

### ■ 移 設 ■

- 製品を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードを傷つけないように移動してください。
- 長距離の運搬移動の際には、厳重に荷造りをして、横積み、逆積みなどはしないでください。
- 転居の際は、取扱説明書と保証書を必ず製品に添付してください。

### ■ 廃 棄 ■

- 子供が遊ぶような所に放置しないでください。
- 通常は粗大ゴミ扱いで処分してください。
- 廃棄するときは、扉がロックしないようにシリンダー錠を外してから廃棄してください。

### ■ 譲 渡 ■

- 譲渡の際は必ずこの説明書を商品本体に添付して譲渡先にお渡しください。

### ■ 長時間使用しないとき ■

- 電源スイッチを切ってから電源コードをコンセントから抜いてください。

# 困ったときには

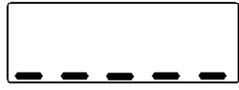
## ■安全装置

### 1) 温度調節器の安全装置

下記の表に安全装置動作時の原因と処理方法を示します。

使用上もしくは装置の故障などの異常が起こった場合は、PV 桁が赤となります。

異常発生時には、エラーコードを確認の上、直ちに運転を中止してください。

名称	表示	発生条件/解除方法
メモリエラー		発生条件：記憶している設定値が異常の場合に発生 解除方法：基板修理
温度入力回路エラー		発生条件：温度入力回路に異常があった場合に発生 解除方法：基板修理
温度入力上限異常		発生条件：温度センサ断線、または温度入力が表示範囲上限を超えた場合に発生 解除方法：温度の接続を確認、温度入力が正常範囲に戻れば復帰
温度入力下限異常		発生条件：温度入力が表示範囲下限を下回った場合に発生 解除方法：温度の接続を確認、温度入力が正常範囲に戻れば復帰

### 2) 独立過昇防止装置

- ・独立過昇防止器の設定温度に槽内温度が達すると過昇防止器が作動し、ヒーター回路が遮断されて操作パネルの表示が全て消灯し停止状態になります。加熱防止・安全のためファンは回転を続けています。温度が異常上昇した原因を取り除いてください。
- ・再度運転を開始する時は、一度電源スイッチを「OFF」にしてから、再度電源スイッチを「ON」にしてください。運転待機状態に戻ります。
- ・独立過昇防止器の温度設定は、使用温度より+20℃程度高く設定してください。

# 困ったときには

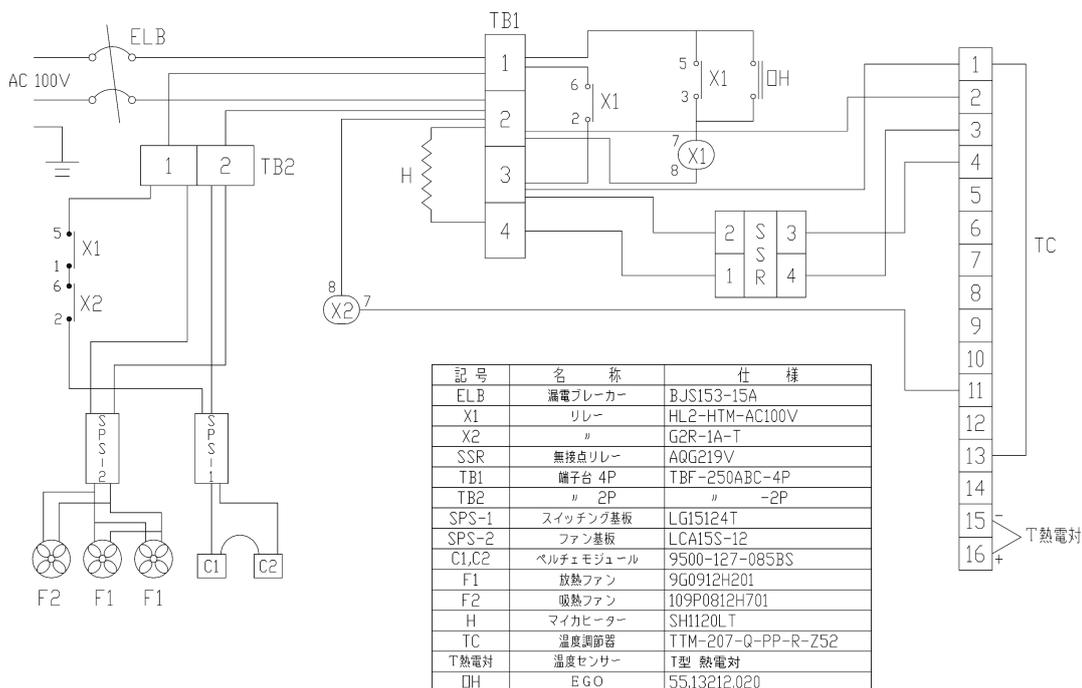
## ■故障かな？の時のチェック項目

症状	原因	処置方法
温度が表示されない (作動しない)	電源プラグがコンセントから 抜けていませんか？	電源プラグを差し込んでください。
	停電していませんか？	停電が復帰するまでお待ちください。
	ブレーカーが切れていませんか？	ブレーカーの修理を依頼してください。
温度上昇に 時間がかかる	スイッチを入れてから 十分時間がたっていますか？	収容量や周囲温度によっては設定温度になるま で時間がかかる場合があります。
	ドアがわずかに 開いていませんか？	ドアをしっかり閉めてください。
	頻繁にドアを 開閉していませんか？	ドアの開閉を少なくしてください。
	収納物を詰めすぎ ていませんか？	適当な隙間をあけて収納物を入れてください。
	エアコンの風が 直接当たっていたり しませんか？	風向きを変えるか、本体を移動してください。

※上記にない異常が出たり、処置しても症状が改善されないときは、必ず電源プラグを抜いて使用を中止して  
お買いあげの販売店にご連絡ください。

# 仕様

## ■配線図



## ■仕様表

型名	SIC-10
冷却・加温方式	ペルチェ素子とヒーターによる送風循環方式
ヒーター	マイカヒーター 120W
冷却	電子素子ペルチェ
温度制御範囲	0°C ~ +60°C (at 室温 23°C)
温度調節精度	±0.06°C (at 庫内 20°C 無負荷)
温度分布精度	±0.2°C (at 庫内 20°C 無負荷)
最高温度到達時間	60 分以内 (at 庫内 20°C、室温 23°C 無負荷)
最低温度到達時間	120 分以内 (at 庫内 20°C、室温 23°C 無負荷)
安全装置	・ 温調器エラー表示 ・ 独立過昇防止器 (E. G. O.) ・ 鍵付き扉
庫内材質	ステンレス鋼 (SUS304)
外装材質	・ 電気亜鉛メッキ鋼板 ・ メラミン樹脂焼付塗装
外装寸法	W 390 × D 430 × H 512 (mm)
内装寸法	W 290 × D 210 × H 250 (mm)
内容積	18 リットル
電源	AC100V 4.5A 50/60Hz
質量	21.5 kg
付属品	棚板 2 枚 水受けトレイ 1 枚 鍵 2 個 取扱説明書 保証書

- 製品改良のため一部仕様が変わる場合があります。
  - この製品は日本国内用です。国外では使用できません。また、アフターサービスも出来ません。
- This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

# 保障とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買いあげの販売店へお申し付けください。

## ■保証書

- ・本取扱説明書に記載
- ・必ず、お買いあげの販売店からお買いあげ日・販売店名などの記入をお確かめの上受け取り、よくお読み頂いた後、保管してください。

**保証期間：お買いあげ日から本体1年間**

## ■修理を依頼される時

16・17 ページの「困ったときには」をご確認後も改善しない時は、電源プラグを抜いて、使用を中止しお買いあげの販売店にご連絡ください。

### ・保証期間中は

保証書の規定に従って、お買いあげの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが保証書を提示の上依頼してください。

### ・保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■修理料金は

- 技術料+部品代+送料などで構成されています。
- 技術料とは、診断・故障箇所の修理及び部品交換や調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代とは、修理に使用した部品及び補助材料です。
- 本製品につきましては、出張修理はいたしません。

## 品質保証書

本書は、本書記載内容により無料修理を行なうことをお約束するものです。下記「保証期間」中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげ販売店または弊社担当営業宛ご依頼ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

型名	SIC-10 型		
シリアルNo.			
保障期間	お買いあげ年月日		本体 1 年
	年	月 日から	
お客様	ご芳名	様	
	ご住所	〒 TEL	
販売店	店名・住所		

### 無料修理規定

1. 取扱説明書により正常な使用状態で故障した場合は、無料修理いたします。
2. 保障期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげ販売店に依頼してください。
3. 保障期間内でも次の場合は有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
  - (ロ) お買いあげ後の転倒、落下等による故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
  - (ニ) 接続する他の器機により生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

株式会社 三商

www.co-sansyo.co.jp